

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 1 区分
 【発行日】平成26年10月30日 (2014.10.30)

【公開番号】特開2013-85485(P2013-85485A)
 【公開日】平成25年5月13日 (2013.5.13)
 【年通号数】公開・登録公報2013-023
 【出願番号】特願2011-226233(P2011-226233)
 【国際特許分類】

A 0 1 K 67/027 (2006.01)

G 0 1 N 33/15 (2006.01)

G 0 1 N 33/50 (2006.01)

【 F I 】

A 0 1 K 67/027

G 0 1 N 33/15 Z

G 0 1 N 33/50 Z

【手続補正書】

【提出日】平成26年9月4日 (2014.9.4)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 2 9 】

ヒト小型肝細胞は、従来公知の手法に基づいて調製することができ、すなわち、遠心分離を用いた方法、エルトリエーターや F A C S 等の細胞分画装置を用いた方法、ヒト小型肝細胞を特異的に認識するモノクローナル抗体を用いた免疫学的手法などを利用することができる（特開平10-179148号公報、特開平8-112092号公報）。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 6 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 6 0 】

実施例 5：免疫染色法による肝臓におけるマウスCyp3a発現解析

上記実施例 2 で作製したcyp3a(KO/KO)/uPA(+)/(+) /SCID(+)/(+)キメラマウス [N2F1] およびPXBマウスの外側左葉の凍結切片を作製し、ヒト特異的サイトケラチン8/18 (hCK8/18) 抗体 (PROGEN) およびマウスCyp3a抗体 (SANTA CRUZ) を用いて、肝臓の免疫染色を行った。

【手続補正 3】

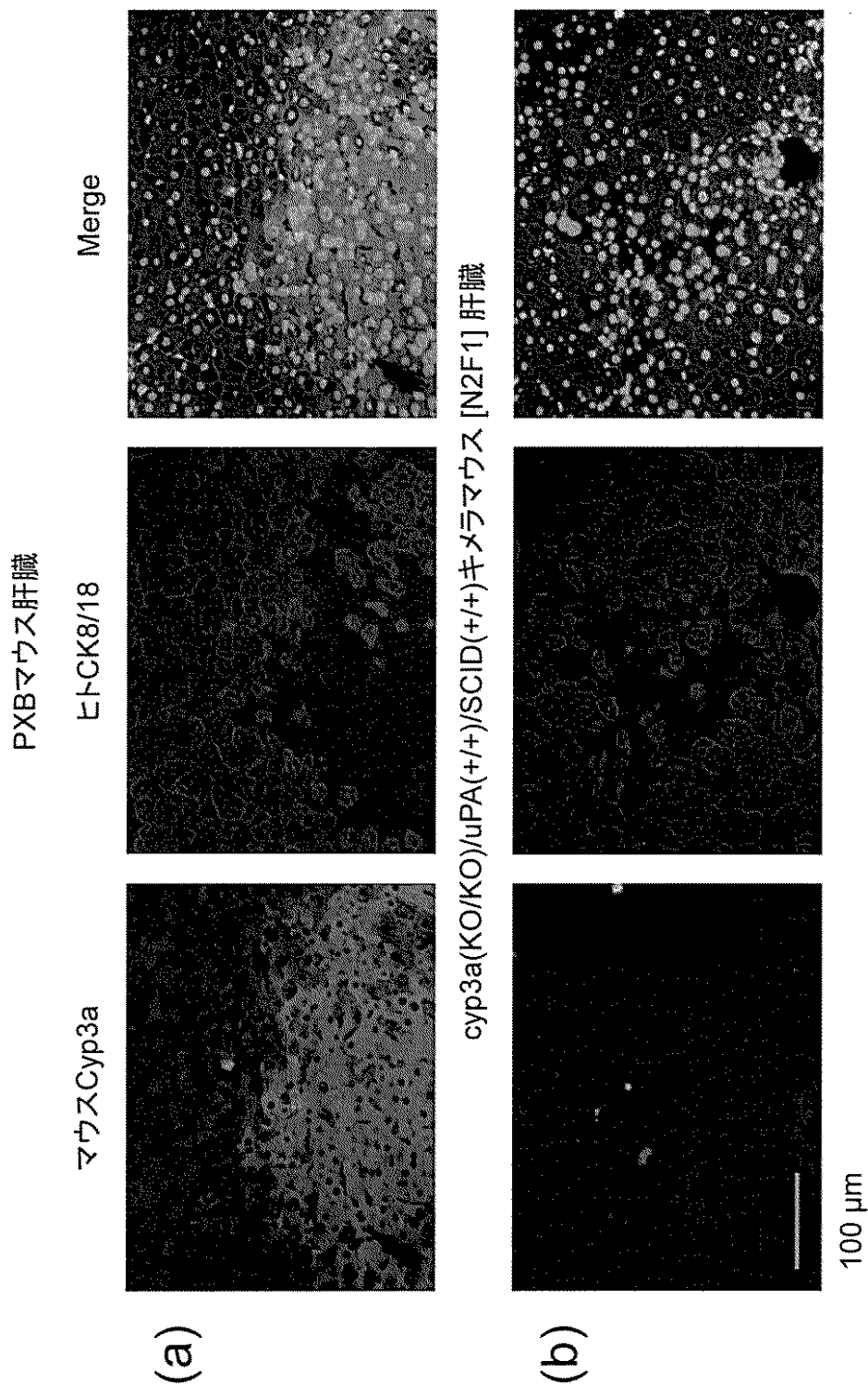
【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 5】



【手続補正 4】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 6】

